

二〇二〇年度

群馬県立女子大学 文学部 国文学科

転入学及び編入学試験

専門科目 試験問題

試験時間

11時00分～12時30分

問題一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

昔、心つきて^{注1}色好みなる男、長岡といふ所に家つくりてをりけり。そのとなりなりける宮ばらに^{注2}、
 ともなき^{注3}女どもの、田舎なりければ、^ア田刈らむとて、この男のあるを見て、「いみじのすき者のしわざや」と
 て、^イ集まりて入り来ければ、この男、逃げて奥にかくれにければ、女、
^ウ荒れにけりあはれいく世の宿なれや住みけむ人の訪れもせぬ
 といひて、この宮に集まり来ゐてありければ、この男、
 むぐら生ひて荒れたる宿の^エうれたきはかりにも^オ鬼のすだくなりけり
 とてなむいでしたりける。この女ども、「穂ひろはむ」と言ひければ、
 うちわびておち穂ひろふと聞かませば我も田づらにゆかましものを

(『伊勢物語』より)

注1 心つきて …… すぐれた思慮分別を持っていて。

注2 宮ばらに …… ある皇族様のお邸で。

注3 こともなき …… 欠点もなく好ましい。

問一 二重傍線部「住みけむ人の訪れもせぬ」を解答欄に書き写し、例にならって品詞分解しなさい。

【例】

形容動詞・ナリ 活用・連用形	名詞	格助詞	動詞・ラ行四段 活用・未然形	助動詞・尊敬 ・連用形	補助動詞・ハ行四 段活用・終止形	助動詞・推量・連体 形(撥音便無表記)	助動詞・伝聞 ・連体形	接続助詞
にはかに	宮	へ	渡ら	せ	たまふ	べか	なる	を

問二 傍線部ア「田刈らむ」、エ「うれたきは」をそれぞれ現代語訳しなさい。

問三 傍線部イ「集まりて入り来れば」とあるが、なぜ「集まりて入り来」たのか。説明しなさい。

問四 傍線部ウ「荒れにけり」とあるが、何のどのような様子を「荒れにけり」といったのか。説明しなさい。

問五 傍線部オ「鬼のすだく」とは、誰のどのような様子をたとえた表現か。説明しなさい。

問題二

次の各問いに答えなさい。

- 問一 明治時代の自然主義文学について、具体例を挙げて説明しなさい。
- 問二 心境小説について、具体例を挙げて説明しなさい。

問題三

次の各問いに答えなさい。

- 問一 東條操について説明しなさい。
- 問二 現代日本語のガ行鼻濁音が現れやすい音環境について説明しなさい。
- 問三 副助詞「だに」について説明しなさい。
- 問四 「申す」と「申し上げる」を例に、謙譲語について説明しなさい。
- 問五 肯定的フィードバックについて、具体例を挙げて説明しなさい。

問題四

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

楚有^二祠者^一、賜^二其舍人卮酒^一。舍人相謂曰、「数人飲^レ之不^レ足、一人飲^レ之有^レ余。請画^レ地为^レ蛇、先成者飲^レ酒。」一人蛇先成、引^レ酒且^レ飲^レ之¹。乃左手持^レ卮、右手画^レ蛇曰、「吾能為^二之足^一。」未^レ成、一人之蛇成、奪^二其卮^一曰、「蛇固無^レ足。子安能為^二之足^一。」遂飲^二其酒^一。為^二蛇足^一者、終亡^二其酒^一。今君相^レ楚而攻^レ魏、破^レ軍殺^レ將得^二八城^一。不^レ弱^レ兵、欲^レ攻^レ齊。齊畏^レ公甚。公以^レ是為^レ名居足矣。官之上非^レ可^レ重也。戰無^レ不^レ勝而不^レ知^レ止者、身且^レ死、爵且^二後歸^一。猶^レ為^二蛇足^一也。

〔戦国策〕卷九・斉二

(注)「舍人」…左右に近侍して雑務を司る職。「卮酒」…大杯に盛った酒。「君」…楚懷王の將軍、昭陽のこと。当時、魏軍を倒し、さらに斉へ攻めこもうとしていた。「公」…昭陽を指す。

問一 傍線部(1)を書き下し文に改めなさい(歴史的仮名遣い)。

問二 傍線部(2)を正確に現代語訳しなさい。

問三 傍線部(3)は、どういう意味か。簡潔に答えなさい。

問四 傍線部(4)の「是」は、何を指すか。具体的に答えなさい。

問五 傍線部(5)について、なぜそう考えるのか。具体的に答えなさい。